DBD｜認知症行動障害尺度

28項目・編集上の日本語訳（未検証）／STROKE LAB

記入前に：日常を知る介護者が回答／面接または介護者による記入

対象者ID：_____　評価日：_____年____月____日

対象期間：_____年____月____日 〜 ____月____日（過去1週間）

回答者・関係／職種：_____　評価者：_____

過去1週間の頻度について、各行の数字を1つ○で囲んでください。
0＝全くない 1＝まれにある 2＝ときどきある 3＝よくある 4＝常にある

番号	行動	頻度（1つ選択）				
1	同じ質問を繰り返す	0	1	2	3	4
2	物をなくす、置き場所を間違える、または隠す	0	1	2	3	4
3	日常の活動に関心を示さない	0	1	2	3	4
4	明らかな理由がなく、夜間に目を覚ます	0	1	2	3	4
5	根拠のない非難をする	0	1	2	3	4
6	日中に眠りすぎる	0	1	2	3	4
7	行ったり来たり歩き回る	0	1	2	3	4
8	同じ動作を何度も繰り返す	0	1	2	3	4
9	言葉でののしる、または悪態をつく	0	1	2	3	4
10	状況に合わない服装をする	0	1	2	3	4
11	状況に合わず泣いたり笑ったりする	0	1	2	3	4
12	身の回りのケアを手伝ってもらうことを拒む	0	1	2	3	4
13	明らかな理由がなく物をため込む	0	1	2	3	4
14	落ち着きなく、または興奮して手足を動かす	0	1	2	3	4

項目1〜14の小計：_____ / 56点　（全14項目の回答がある場合）

本用紙は溝口ら（1993）の検証済み日本語版の複製ではありません。英語の28項目を翻訳した未検証の用紙です。研究・版を指定する運用には検証済み日本語版を使用してください。

DBD｜認知症行動障害尺度

28項目・編集上の日本語訳（未検証）／STROKE LAB

項目15〜28／回答方法は1ページ目と同じです

対象者ID：_____　評価日：_____年____月____日

過去1週間の頻度について、各行の数字を1つ○で囲んでください。
0＝全くない 1＝まれにある 2＝ときどきある 3＝よくある 4＝常にある

番号	行動	頻度（1つ選択）				
15	引き出しや戸棚の中身を空にする	0	1	2	3	4
16	夜間に家の中を歩き回る	0	1	2	3	4
17	外出先で道に迷う	0	1	2	3	4
18	食べることを拒む	0	1	2	3	4
19	食べすぎる	0	1	2	3	4
20	尿失禁がある	0	1	2	3	4
21	日中、屋外や家の中を目的なく歩き回る	0	1	2	3	4
22	身体的な攻撃をする （たたく、かむ、ひっかく、蹴る、つばを吐くなど）	0	1	2	3	4
23	理由なく叫ぶ	0	1	2	3	4
24	不適切な性的な働きかけをする	0	1	2	3	4
25	陰部を露出する	0	1	2	3	4
26	物品や衣類を壊す・破る	0	1	2	3	4
27	便失禁がある	0	1	2	3	4
28	食べ物を投げる	0	1	2	3	4

項目15〜28の小計：_____ / 56点

全28項目の合計：_____ / 112点　　未回答：_____項目

合計＝項目1〜28の得点の和。高得点ほど該当行動の頻度が高いことを示します。強さ・危険度・介護負担の点数ではありません。小計欄は計算補助で、正式な下位尺度ではありません。

【編集上の運用注意】分からない項目を0点で埋めないでください。未回答の補完規則は確認できていません。未回答が残る場合は完全な総点を記載せず、項目番号と理由を3ページ目に残します。

DBD｜認知症行動障害尺度

28項目・編集上の日本語訳（未検証）／STROKE LAB

観察条件・支援記録／出典と本用紙の位置づけ

対象者ID：_____　評価日：_____年____月____日

観察範囲・情報源・回答補助（時間帯、場所、記録、読み上げ等）

未回答・判断が難しかった項目（番号と理由／追加確認先）

具体的な行動と背景（いつ・どこで・直前の状況・本人の言葉）

本人・介護者の困りごと／支援計画／再評価日

本用紙の位置づけ：原尺度の28項目と0〜4点・合計0〜112点を保持した編集上の日本語訳です。翻訳の信頼性・妥当性は未検証で、溝口版との得点の互換性は確認していません。

原尺度：Baumgarten M, Becker R, Gauthier S. J Am Geriatr Soc. 1990;38:221-226. DOI: 10.1111/j.1532-5415.1990.tb03495.x

英語項目の照合：Gauthier S, et al. Int Psychogeriatr. 1996;8 Suppl 3:325-327. DOI: 10.1017/S1041610297003566。番号・英語項目はNoguchi T, et al. J Epidemiol. 2024;34:543-552, Table 2とも照合。DOI: 10.2188/jea.JE20230343（CC BY）。日本語への翻訳・記録欄追加：STROKE LAB。

再利用の根拠：Sansoni J, et al. (2007), Dementia Outcomes Measurement Suite Project, Appendix 10.1.3, p.212に、出典を明記すれば無料・許諾不要で複製できる旨を記載。日本語版掲載誌全体の転載許諾を得たものではありません。

検証済み日本語版：溝口 環ほか．日本老年医学会雑誌．1993;30:835-840. DOI: 10.3143/geriatrics.30.835（原著の表1A）。本用紙をこの版と表示しないでください。

原尺度の再利用案内

英語28項目・CC BY論文

検証済み日本語版原著